

第2回 共用パイロットスタディ意見交換会 議事録

1. 日時 令和2年10月13日(火) 10:00-10:30
2. 場所 オンライン(Zoom)
3. 出席者 (共同利用機器部門) 小湊、大日方、平野
(法医学) 窪
(重粒子線医学研究センター) 高橋
(腫瘍放射線学) 尾池、廣田
(分子細胞生物学) 倉知
(研究支援係) 深澤、長谷川

※順不同、敬称略

4. 議題

(1) 部門長挨拶

小湊部門長より、「機器の共用化を進めたいと思っている。また研究機器の共用化自体も進んでいくと思うので、協力をお願いしたい」との挨拶があった。

(2) 共用機器管理システム SimpRent の新機能紹介

平野職員より、2020/9/4にあった SimpRent のアップデートについて、特に管理者機能の新機能の紹介があった。

- ① 機器設定の一括変更ができるようになった。
- ② 「機器ニュース」ができ、予約画面にもお知らせを表示できるようになった。
- ③ 予約条件設定で、予約可能曜日の設定ができるようになった。
- ④ 料金設定で、個数単位課金の場合の単位名を(ラン、枚など)任意のものに設定できるようになった。

※ 現在の共用パイロットスタディでは料金設定をしないルールとなっているが、生物資源センターや生体情報ゲノムリソースセンターなどの既存共用施設では料金設定があるので使用できる。小湊部門長より、今後共用パイロットスタディでも料金設定をしたいという希望がでるのではないかとコメントがあった。

- ⑤ 機器登録の際、既存の機器情報の画像以外をコピーして新規機器の登録ができるようになった。
- ⑥ 「問い合わせ」ボタンができ、利用者からの問い合わせが機器の担当者に SimpRent 経由でメールが届くようになった。

(3) 運用状況

① 腫瘍放射線学 (尾池)

週に数回の利用があるが、いまのところ故障もなく運用できている。今後も同様に運用していきたい。予約可能曜日設定ができるようになったのが便利だったので、設定した。やはり故障した時の費用負担が問題なので、修理費用について部門が担保するなどの仕組みがあれば、他の機器の提供も可能ではないか。

② 法医学 (窪)

外部利用はいまのところないが、外部利用を考えて整備したので、自分達も使いやすくなった。予約可能曜日の設定は便利そうなので、この後設定したいと思う。

③ 生物資源センター：X線照射装置（高橋）

1号館のX線照射装置のバッテリー切れが起こったが、SimpRentの管理(高橋先生)と実際の機器の管理の担当者(大上先生)が異なっており、対応に問題が生じた。役割分担を明確にしておいた方がよいと思った。

④ 生物資源センター：小動物用MRI（倉知）

前回の意見交換会后、数名の予約権限の追加を行ったが、これらの作業は問題なかった。昨年度末に制御用PCのバージョンアップを行ったが、コロナ禍により講習会の開催が難しく、例年12月の大学院実習に合わせて講習とアプリケーションの切り替えを行うかどうか検討している。詳細が決まれば、SimpRentでもお知らせを出そうと思っている。

(4) SimpRentについての要望

特になし

(5) 共用パイロットスタディについて

尾池先生より、「共用にする場合、機器が故障した時に修理費用が出せるかどうかが一番の不安要素なので、部門等から費用を出すなどの対応があると良い。使用料の設定ができるのであれば設定し、修理費用に充てたいが、使用料で修理費用を全て賄おうとすると使用料が高額になり、共用されなくなってしまう可能性がある。機器提供側としては問題ないが、共用化促進のためには、そのバランスをとる必要があるのではないか」との意見があった。小湊部門長から「研究・産学連携機構では、機器を貸し出して収入としたい、あるいは、共用するのであれば共同研究にすべきだ、という意見もあった。医学系研究科の共用パイロットスタディでは共同研究化は必須としなかったが、このような意見も踏まえ、もう少しパイロットスタディを継続してから使用料について検討してはどうか」との提案があった。また大日方先生より、現在の共用パイロットスタディの仕組みでは機器提供側にメリットがないのが一番の問題だと思うので、料金と管理の問題を解決する仕組みを作っていないと共用化の促進は難しいのではないか、との意見があった。平野職員より、修理費を部門や中央予算から出す以外にも、例えば、機器提供している研究室共同利用機器部門の機器の使用料を20%引きするなどはメリットとなるか、との質問があり、尾池先生から、外注費用と学内依頼分析の料金差がなくなっているため、使用料の割引があれば良いと思うとの意見があった。また、小湊先生より、部門が管理しているスペースをオフィス等として貸し出すなどもできるのではないかと、他にも共同研究化を必須とするというのもメリットになるのではないかと、との意見があった。

5. 次回予定

第3回意見交換会は次回のSimpRentアップデート後を目処に、年度内に開催予定。